<u>iThenticate 簡易マニュア</u>ル

1.アカウント作成連絡:

管理者が登録するとnoreply@ithenticate.comから、初期パスワードともに、

下記のようなメールが送付されます。 迷惑メールに入っている可能性が ありますので、注意が必要です。 管理者のメールの設定により、英語 になる場合もあります。



2. ログイン画面:

http://www.ithenticate.com/ のLoginをクリックします。



システム要件:

WINDOWS MACHINES

CPU:1.5GHz以上

OS: Microsoft® Windows®7, Windows® XP with Service Pack 2 or Windows Vista® with

Service Pack 1

Browser: Firefox 15+, Internet Explorer 8 and 9, Chrome 23+ or Safari 5+ Browser setting: Internet browser set to allow all cookies from ithenticate.com

Memory: 1GB (XP) or 2GB (Vista) of RAM or more recommended

Display: 1,024x768 display or higher recommended Internet: Broadband Internet connection is recommended

MAC OS MACHINES

OS: Mac OS X v10.4.11+

Browser: Firefox 15+, Chrome 23+ or Safari 5+

Browser setting: Internet browser set to allow all cookies from ithenticate.com Memory: 1GB of RAM or more recommended

Display: 1,024x768 display or higher recommended Internet: Broadband Internet connection is recommended

その他注意点:

1. "cookies" and "cache"をクリアにしてく

2.Javaを最新Versionに上げてください。 ブラウザのPop-upブロッカーを一時的に利 用不可にしてください。 もし設定する場合は、下記のサイトを許可し

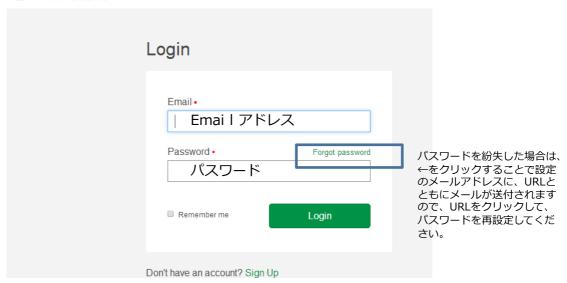
てください。

http://www.ithenticate.com, https://www.ithenticate.com,

edgecastcdn.net

<u>iThenticate 簡易マニュアル</u>

√iThenticate[®]

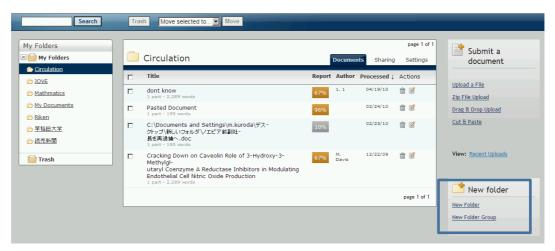


3.フォルダ設定

iThenticateはFolderの下にファイルを格納して、Originalityをチェックします。 フォルダ毎に設定を変更することができます。

1.フォルダ作成

親フォルダ(Folder Group)-Folderを束ねるフォルダ、又はFolder(ドキュメントの格納フォルダ)を作成します。 フォルダ作成方法、右下のNew Folderをクリックします。



1-1. New Folder Groupの設定:

New Folder Groupをクリックした場合には、親フォルダとしてのフォルダ名の入力を求められます。 親フォルダには、ファイルを格納できません。親フォルダの下の子フォルダにファイルを格納できます。



1-2.New Folder の設定

Return to Folders Create A New Folder フォルダグループを Folder Group 選択し、フォルダ名 を指定ください。 Select an option ▼ iThenticateは、 Folder Name . フォルダ毎の共通設 定となります。 Check to exclude quoted text from comparison of documents submitted in this folder ■ Exclude quotes 引用部分を類似のレポートから外す Check to exclude bibliography from comparison of documents submitted in this folder ■ Exclude bibliography 参考文献を類似のレポートから外す Check to exclude phrases associated with this folder (or with your account) from comparison of documents submitted in this folder 数語の同じ語の並びについて閾値を設定 Exclude Phrases 特定のフレーズを比較から外す。 Ex 化学用語等 (現在英語のみ利用可能) Check to exclude match instances from日本語では文字化けw(修正連絡済) Exclude Small Matches Exclude Small Matches Set match exclusion threshold: 類似と判断しない特定の語数の設定 Check to exclude sources below the set thresholds from Poor 文字の連続はOriginality Exclude all match instances below the set threshold from reports. レポートから除外 Exclude Small Sources Exclude Small Sources Exclude Sources by: Word Count words **Exclude Sections:** Based on a source's total match percentage or match word count. Check to exclude the Abstract from comparison of docur nents submitted to this folder. ○ Word Count チェックをすることで、抄録を Abstract O Percentage % Originalityレポートにカウントしません。 Check to exclude the Methods and Materials section from comp to this folder. Includes variations: Method, Methods, Materials ソース毎にどの程度を類 ■ Methods and Materials チェックをすることで、 似として評価するか? Methods及びMaterialsについて、Originality Set to "no" if you do not want document documen XX語以内、または、%に て設定。 Index documents uploaded with Multiple File Upload. 指定語数又は%にて自動 的にレポートから削除 Indexについては、OptionのNodeの購入者 Yes のみ表示します。 O No Limit searches to these repositories * ments submitted in this folder will search checked repositories CrossCheck: 主要な学術団体が加盟している学術出版社 CrossCheck の集まりです。それぞれの会社がデータを持ち寄り、類似 ■ Internet の有無をチェックしております。 http://www.crossref.org/crosscheck.html Publications Internet:過去及び現在のインターネットのコンテンツ Your Indexed Documents から類似箇所を検出します。 Publications: 出版社の出版物から類似箇所の有無を検出 します。

<u>Cancel</u>

登録しましたら、最後にCreateをクリックしてください。

Your Indexed Documents: OptionのNodeを購入する

ことで表示します。

<u>iThenticate 簡易マニュアル</u>

2. Folder の共有設定

✓ iThenticate®

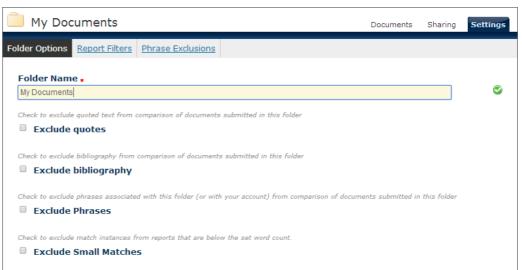
管理者が共有を 許可している場合

フォルダ毎に共有者 を設定することが できます。



3.Setting

NewFolderで設定した項目と同じ項目を設定することができます。 同様にフォルダ名の変更もできます。



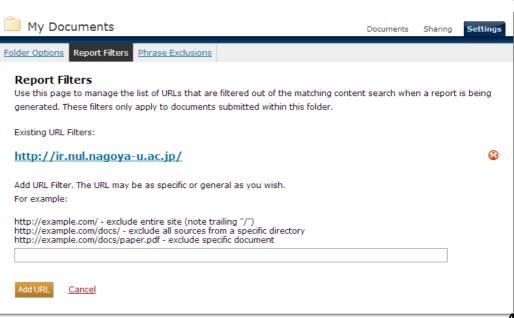
3-1. Report Filters

特定のサイトをレポート から除外する設定を行う ことができます。

例:レポジトリからの除外

備考

フォルダでフィルタ設定をしてしまうと後で、フィルタを外しても古いフォルダの設定のままオリジナリティレポートが掲載されることががありますので注意が必要です。



3-3. Phrase Exclusions

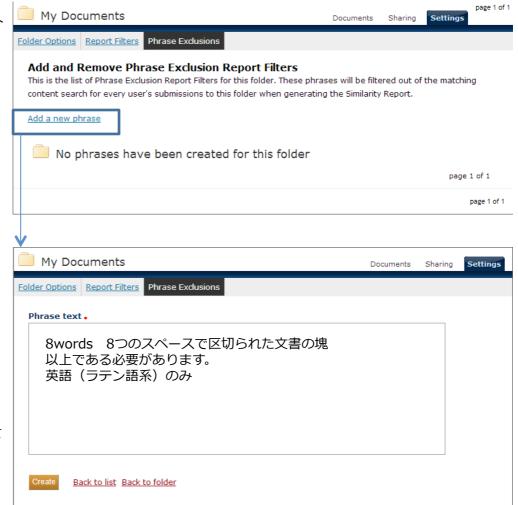
特定のフレーズをレポート から除外する設定を行う ことができます。 現状英語のみ

備考:

フォルダでフィルタ設定 をしてしまうと後で、フィ ルタを外しても古いフォル ダの設定のままオリジナリ ティレポートが掲載される ことがありますので注意 が必要です。

チェックする回数が1000回等限られている場合は、フォルダの設定を行うより、手動で、サイトを確認し、外すことを推奨します。(チェック回数を少なくできるため)

現状、フォルダの設定後に 変更して登録した文献について は登録後に有効になる。



4.論文/レポートのシステム登録

1.1つずつ登録する場合

ファイルサイズと文字数の制限は別々に捉えられます。 1 Submissionのサイズの制限は40MBで、それを超えるファイルサイズのものは受理されません。

そのファイルサイズ内で、1 Submissionは25,000words(約400ページ)までとなっております。

25,000Wordsを超えても受理はされますが、2 Submission とカウントされます。

例えば、49,000 Wordsの場合、2 Submissionとして受理されます。



- 4.論文/レポートのシステム登録
- 1.1つずつ登録する場合



page 1 of 1

20100520

Documents Sharing Settings

「Title Report Author Processed Actions
「吾輩は猫である」
pending 更、漱石 05/20/10 値 で

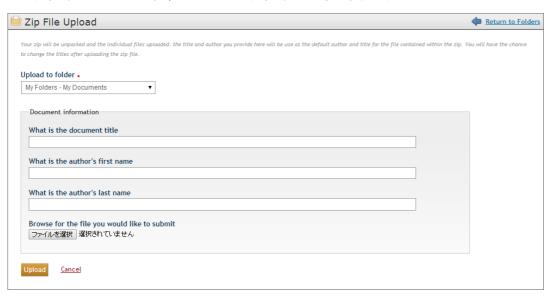
1 part - 1,078 words

登録して調べているときには、Pendingという形で表示されます。 page 1 of 1

チェックする時間の目安

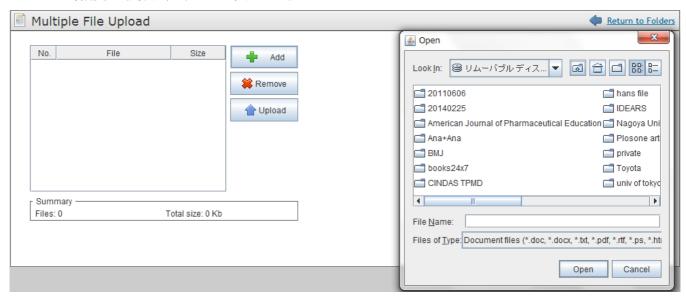
4-5ページで大よそ3-4分、 100ページでおおよそ 30-45分かかること があります。

2.ZIPファイルのアップロード ZIPファイルは、100M以下又は、1000ファイルまでとなります



ZIPファイルは すべて統一した ファイルフォー マットである必要 がありません。 許されたフォー マットで、混在可 能

- 4.論文/レポートのシステム登録
- 3.Javaを利用した複数ファイルのアップロード



4.Cut & Pasteによるアップロード

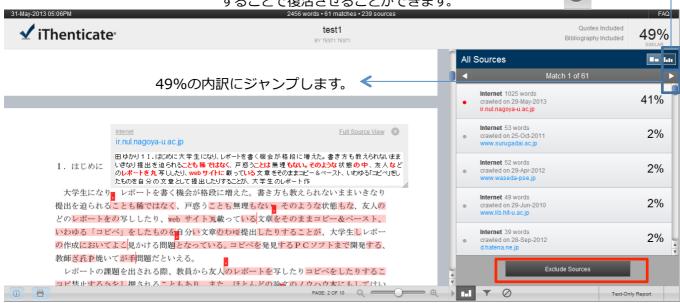


5. オリジナリティ・チェック・レポート

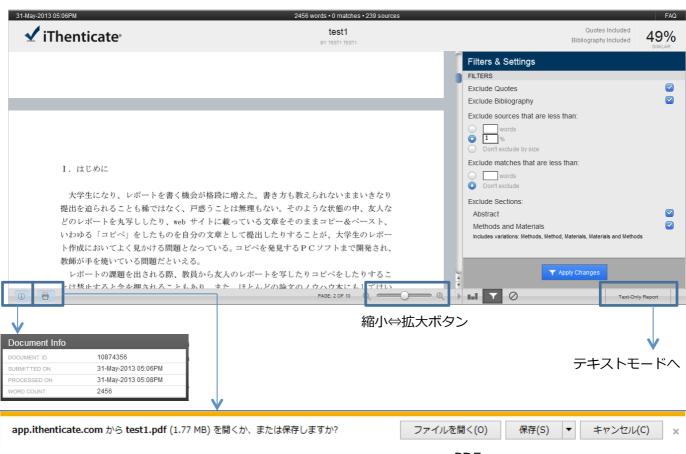
1.ドキュメント・ビューワー・モード) 類似度のレポートを見る場合は、下記の%をクリックしてください。



"All source" モードでは、重複ありの%の多い情報から順に表示します。 また、□をクリックしてソースを選択することで、剽窃の%から外すこ とができます。□でExclude Sourcesを選択したものは、 することで復活させることができます。



フィルタ設定: 引用符、参考文献、小さな適合率、抄録、Methods部分等を剽窃としてみなさない設定を行うことができます。



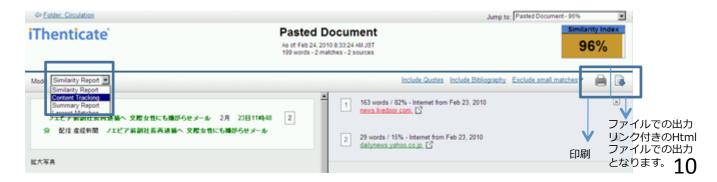
<u>iThenticate</u> 簡易マニュアル 2. テキストモード

下記の通り、どの部分が類似しているのか、明確に表示します。 デフォルト設定では、一番類似度合いの高いものから表示します



番号をクリックすることで、原著からどこの箇所にて、類似文書が 利用されていたのが、色を変えて表示させます。

例えば、1つの文献が複数のサイトにまたがって掲載されている場合があります。それらを検出するた めに、iThenticateではContents Trackingモードを有しております。



6.Setting:

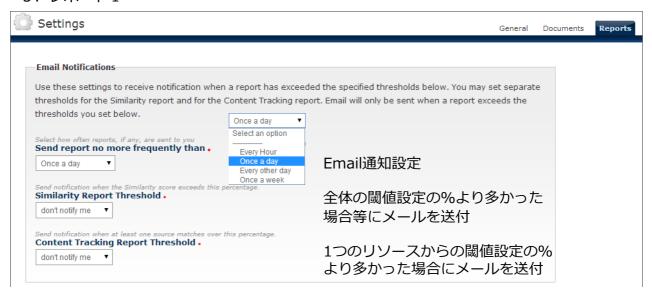
1.全般



2. ドキュメント

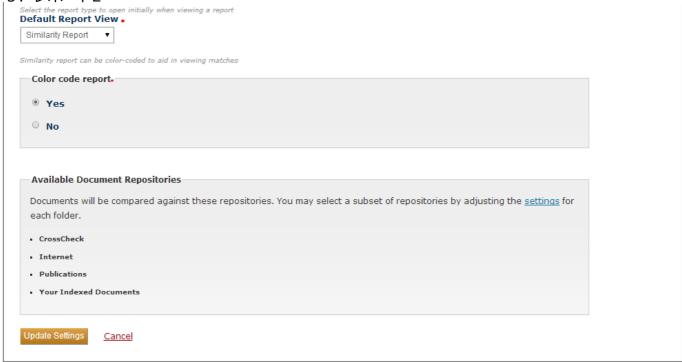


3. レポート1



<u>iThenticate 簡易マニュアル</u>

3. レポート2

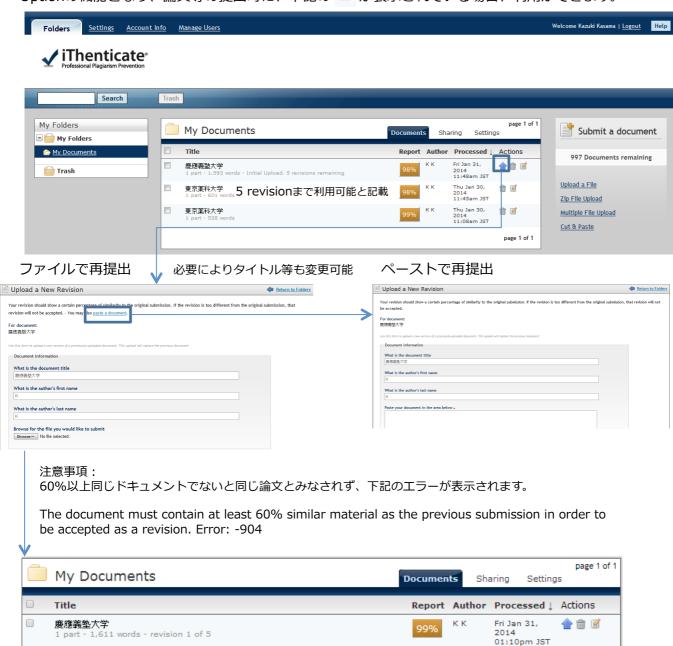


7. Account Info: アカウント情報



8. レビジョン・オプション

Originalityのチェック時に、5回まで書き直しができる機能です。 Optionの機能となり、論文等の提出時に、下記の か表示されている場合、利用ができます。



1/5のレビジョン表示、後4回まで変更可能